第3学年 社会科 学習指導案

単元名　選挙について考えよう

新学習指導要領（H29年告示）社会編公民的分野Ｃ私たちと政治　（2）民主政治と政治参加ア（イ）、イ（ア）

1. 本時のねらい

・選挙公約の分析を通して、複数の公約を様々な視点で捉え、どの候補者に投票すべきか考え、慎重に候補者を選ぶ必要性を理解することができる。

２．本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 学習過程　◯→生徒の意見 | 指導・援助 |
| 導入 | 1．投票先を決定し、投票する。・4人の主張を読んだ上で、リーフレットp.1Q1を記入する。・p.1にある4人の公約を見て投票する。2. 課題設定

|  |
| --- |
| 投票先を選ぶ時に大切なことは何だろう。 |

 | 〇生徒はリーフレットp.1 Q1を記入する。〇選んだ理由を板書する。 |
| 展開 | 3．視点を基にグループで分析する。視点を基にグループで各候補者の公約を分析する。[各学校・クラス単位で設定　以下は視点の例]・所属クラスでの実現可能性・目標の達成度・体育祭の練習量と受験勉強にかけるバランス○私たちのクラスでは勉強を頑張りたい人が多いから水都さんの意見には反対です。〇乗鞍さんは体育祭にかける熱も、受験勉強にかける熱も同じだね。〇陶都さんの意見だったら体育祭の練習量と受験勉強にかけるバランスがちょうどよさそうだね。4．意見を整理した上で，改めて投票する。・活動3を踏まえて、改めてどの人に投票するか理由も含めて決定する。5．活動1と活動4の選択理由の変化について考え、交流する。・投票先の選択理由について視点を基にした分析や仲間の意見を使い、根拠を持って伝える。〇最初は体育祭にかける熱が一番という考えだったが、分析により、両立する視点も大切だと感じた。 | ※視点は学校・クラスによって自由に設定してください。○視点分析シートを使用する。○生徒は複数の視点を参考にして、各候補者の公約を分析する。◯視点を複数提示し、生徒と交流することで各候補者に投票した生徒の意図を聞いて共感することや立場の違いによる意見の多様性に気付くようにする。◯全体に向けて提示した視点で分析することが難しい生徒には１人１人が大切にしている公約のキーワードを提示する。（水都:全員で協力、乗鞍:メリハリ、陶都:参加しやすい雰囲気、鮎川:個人の自由）◯選んだ理由を板書する。◯自身の変化(投票先の変化や同じ投票先であってもその理由の変化)を読み取る。◯活動１で投票先を決定する際に自分が書いた理由と比較することで、生徒が思考の変容を捉えられるようにする。◯投票先が変わった生徒だけでなく、同じ投票先であっても根拠を明確にして複数の視点で候補者を公約分析することで生徒が根拠をもって投票していることに気付くようにする。 |
| 終末 | 6.リーフレットのQ3に自分の考えを記入する。・公約を分析した上で、自分の意見の根拠を明確にして投票することの重要性を理解し、授業内容を振り返る。〇複数の視点を持ち分析したことで、初めの選択と比べ、より根拠をもって候補者を選ぶことができた。 | ◯リーフレットのQ3に本時の課題に対するまとめを記入する。 |

＊教材：リーフレット教材、視点分析シート

＊評価規準：

　・情報を分析し、慎重に候補者を選ぶ必要性を理解している。(知識・技能)

・複数の公約を様々な視点で分析し、どの候補者に投票すべきか考え根拠に基づいて判断している。

(思考・判断・表現)

・意見の変化を捉えながら、仲間と話し合いをしようとする。（主体的に学習に取り組む態度）